

## 大学医学部女性医師支援担当者連絡会 － よりよい男女共同参画を目指して －

日時：平成25年9月27日(金) 午後2時～午後4時

場所：日本医師会館 大講堂

報告：男女共同参画委員会委員長 谷口 邦子

司会：常任理事 小 森 貴

開 会

挨拶

日本医師会長

横 倉 義 武

日本医師会女性医師支援センター長 羽生田 俊

議 事

1. 「明日の医療は貴女が創る」

－ 日本医師会の女性医師支援に関する取り組みについて －

日本医師会常任理事 小 森 貴

2. 取り組み事例発表

①東北大学の取り組み

東北大学加齢医学研究所老年医学研究分野

助教 海老原 孝 枝 先生

②岐阜大学の取り組み

岐阜大学大学院医学系研究科皮膚病態学講座

教授 清 島 眞理子 先生

③九州大学の取り組み

九州大学大学院医学研究院保健学部門臨床研究支援看護学

教授 樗 木 晶 子 先生

3. 意見交換

閉 会

※終了後、3階小講堂にて懇親会(茶話会)を開催

今回初めての試みで開催され、大分大学から松浦恵子先生、大分県医師会から谷口邦子、安武千恵先生が参加した。全国80大学からの参加があった。

「よりよい男女共同参画を目指して」というタイトルで

1. 日本医師会の女性医師支援に関する取り組みについて・・・日本医師会常任理事 小森 貴先生のお話があり、
2. 取り組み事例発表 ①東北大学 ②岐阜大学 ③九州大学 の取組みが紹介された。

1では 女性医師支援センター事業について、10の事業計画が示され、特に新しいものとして、今回の「大学医学部女性医師支援担当者連絡会」及び再開された「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者への講習会」の実施が挙げられた。

後者については大分県でも昨年実施したアンケートを基に、12月に講習会を開催する予定である。

- 1) 東北大学では病後児保育室，院内保育園，育児短時間勤務医員制度等が紹介され，今後の問題点として，就学時の児童への対応，「介護」への応用が示唆された。
- 2) 岐阜大学では保育所，施設，勤務体制の整備，先輩女性医師との交流会，男性医師，医学生の教育等が報告された。
- 3) 九州大学では以前からの「女性医療人きらめきプロジェクト(H19～21，文科省，外部資金)」が紹介され，就業継続支援として「ステップ外来」を創設，フルタイム職への復帰，専門医取得等に効果を挙げている。その他復職支援，育児支援，ネットワークの構築なども実施されている。

フロアからのトークでは医師の意識の改革が重要であるという意見，大学での早期からの教育，短時間勤務医員制度を不妊治療，介護，精神疾患等にも適応してほしい，病後児保育，院内保育園に研究生の受け入れをしてほしいなどの意見が出た。

大分県においても，以前から希望されているように大学，医師会，さらに行政の連携が切に望まれるところで，求人・求職活動にも一本化ができると医師不足もいくらか解消するのではないかと思われる。

松浦先生からも「他大学の進展状況を知ることができ，大変参考になった。今後は大分大学として，大分県と密な連携をはかり，女性医師支援に努める必要があると感じた。」というコメントをいただいている。

#### 平成25年度女性医師支援センター事業 事業計画

1. 女性医師バンクによる就業継続、復帰支援（再研修を含む）
2. 医学生、研修医等をサポートするための会
3. 各都道府県女性医師相談窓口への支援
4. 女性医師支援センター事業ブロック別会議の実施
5. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助
6. 「2020.30」推進懇話会の開催
7. 女性医師の就労環境の改善と健康支援
8. 「女性医師支援事業連絡協議会」の開催
9. 大学医学部の女性医師支援担当者連絡会の開催
10. 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の実施